

## 奈良文化財研究所「藤原宮跡資料室」は、土・日・祝日も開館に！

天の香具山の西麓、橿原市木之本町に位置する独立行政法人 国立文化財機構 奈良文化財研究所 都城発掘調査部（飛鳥・藤原地区）は、これまで藤原京の発掘、調査、保存に取り組み、数多くの貴重な発見をしてこられました。同研究所に附属する展示資料室では、これらの貴重な発掘物や学術資料をわかりやすく見学することができます。橿原市と奈良文化財研究所では、より多くの市民、観光客に日本最初の都・藤原京を知っていただくよう相互協力の体制を築き、平日のみの開館であった展示資料室「藤原宮跡資料室」について、4月1日から土・日・祝日も開館できる運びとなりました。

藤原宮跡を挟んで向かい合う格好で西北部には市の藤原京資料室がありますが、この度の東南部に位置する同展示資料室の土・日・祝日の開館により、藤原宮を斜めに横断してのルートが出来上がることになり、藤原宮跡の面的な歴史探訪ルートが確立されます。これにより、藤原宮跡をこれまで以上に周知、啓発することで、世界遺産登録に向けての機運を高める要因にも寄与すると考えられます。

また、香具山周辺には、数多くの魅力的なスポットがあります。古事記にも登場する天の岩戸神社、泣沢神社の森、日本養蚕発祥の地、等々です。もちろん、香具山は万葉集に多く詠われる聖なる山です。橿原市ではこれらミステリースポットともいべき香具山を巡る観光ルートの整備に取り組み始めていますが、同展示資料室は、香具山周遊ルートの基地ともいべき施設になるものと期待しています。

### 土・日・祝日の開館にあたって

橿原市では、来館者に展示品等を紹介する案内人2名と、展示品の警備や駐車場の誘導など施設管理を行う警備員2名を土・日・祝日に配置します。

案内人2名には、配置にあたって奈良文化財研究所都城発掘調査部（飛鳥・藤原地区）が主催する研修会を受講し、藤原宮跡や展示品に関する基礎知識を習得した橿原市ボランティアガイドの会のガイドを予定しています。

奈文研 60 周年記念・藤原宮跡資料室土日祝日開室記念

「埋<sup>うず</sup>もれた大宮びとの横顔―藤原宮東面北門周辺出土の木簡」

展示趣旨

都城発掘調査部（飛鳥・藤原地区）史料研究室

平成 24 年 1 月、都城発掘調査部（飛鳥・藤原地区）史料研究室は、藤原宮跡出土木簡の正報告書としては 3 冊目にあたる『藤原宮木簡三』を刊行いたしました。シリーズとしては、32 年ぶりの刊行で、ここには、藤原宮東面北門付近から出土した木簡 2900 点余のうち、1 文字以上釈読できた 611 点を収録しております。

当研究所では、木簡は、正報告書を刊行したのものから順次保存処理を行っております。このたび、『藤原宮木簡三』に掲載した木簡から 40 点を厳選し、保存処理前の水漬け状態をご覧いただくため、展示を企画いたしました。今回展示する木簡は、著名な人名の記されたもの、宮内省・中務省とその被管官司にかかわるものや、贄などと推測される豊かな食材の付札など、藤原宮の時代を垣間見るに相応しい優品です。

この企画展示は、当研究所の 60 周年を記念し、また、藤原宮跡資料室の土日祝日開室に因んで行うものです。若草の萌え出す飛鳥・藤原の地へ、是非、お越しく下さい。

開催期間 平成 24 年 4 月 7 日（土）～5 月 6 日（日）

※会期を 2 期に分け、2 週間ごとに展示替えを行います

※研究員によるギャラリートークを開催します（予約不要）

4 月 14 日（土）、28 日（土）、5 月 5 日（土） いずれも 13:30～

展示会場 奈良文化財研究所都城発掘調査部（飛鳥・藤原地区）藤原宮跡資料室

担当 山本 崇

〒634-0025 橿原市木之本町 94-1

電話 0744-24-1122、ファックス 0744-21-6390

おもな展示品 藤原宮跡出土木簡 40 点（実物の展示を予定）

藤原宮東面外濠 SD170 出土土器、同東面内濠 SD2300 出土土器 など